カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
メディア・情報	現代社会論	1	◎		○									
メディア・情報	メディア・リテラシー	1	◎		○									
メディア・情報	メディア社会論	1	◎		○									
メディア・情報	出版文化論	1	◎	○										
メディア・情報	図書館概論	1	◎	○										
メディア・情報	図書館情報資源概論	1	◎		○									
メディア・情報	情報と著作権	1	◎	○										
メディア・情報	映像制作Ⅰ	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	マンガ学概論	1		◎	○									
創作文芸・マンガ	マンガ制作A	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	詩歌創作A	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	詩歌創作B	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	絵本研究	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	創作入門	1		◎			○							
創作文芸・マンガ	ヤングアダルト文化研究	1		◎	○									
日本語・日本文学	文学と生	1		○	◎									
日本語・日本文学	芸術表現	1			◎		○							
日本語・日本文学	日本語学	1		○	◎									
日本語・日本文学	日本語文法(現代語)	1		○	◎									
日本語・日本文学	日本古典文学史	1		○	◎									

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
日本語・日本文学	日本近代文学史	1		○	◎									
日本語・日本文学	漢文学概論	1		○	◎									
歴史・文化・国際	メディア英語	1			◎	○								
歴史・文化・国際	フランス語と文化	1			◎	○								
歴史・文化・国際	英語表現Ⅰ	1	○		◎									
歴史・文化・国際	英語表現Ⅱ	1		○	◎									
歴史・文化・国際	日本史Ⅰ	1	○		◎									
歴史・文化・国際	博物館概論	1	○		◎									
歴史・文化・国際	民俗学	1	○		◎									
演習	基礎演習Ⅰ	1				◎		○			○	○		
演習	基礎演習Ⅱ	1				◎		○			○	○		
メディア・情報	メディア史	2						◎	○					
メディア・情報	マス・コミュニケーション論	2						○	◎					
メディア・情報	学校経営と学校図書館	2						◎				○		
メディア・情報	学習指導と学校図書館	2						◎				○		
メディア・情報	生涯学習概論	2						◎	○					
メディア・情報	情報技術論	2						◎	○					
メディア・情報	情報サービス論	2						◎	○					
メディア・情報	映像制作Ⅱ	2					◎	○						
創作文芸・マンガ	マンガ制作B	2					◎	○						

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
創作文芸・マンガ	マンガ講読	2					○		◎					
創作文芸・マンガ	俳句創作	2				○	◎							
創作文芸・マンガ	児童文学創作	2				○	◎							
創作文芸・マンガ	キャラクター論	2				○	◎							
創作文芸・マンガ	演劇文化論A	2				○	◎							
創作文芸・マンガ	演劇文化論B	2				○	◎							
創作文芸・マンガ	文学批評	2				○	◎							
日本語・日本文学	ベストセラー研究	2			○				◎					
日本語・日本文学	日本語文法(古典語)	2						○	◎					
日本語・日本文学	日本語史	2			○				◎					
日本語・日本文学	日本古典文学講読	2			○				◎					
日本語・日本文学	日本古典文学研究	2			○				◎					
日本語・日本文学	日本近代文学講読	2			○				◎					
日本語・日本文学	日本語音声表現(アナウンス)	2				◎			○					
日本語・日本文学	日本語音声表現(朗読)	2				◎			○					
日本語・日本文学	漢文学講読	2			○				◎					
歴史・文化・国際	東洋思想	2			○				◎					
歴史・文化・国際	東アジア文化論	2			○				◎					
歴史・文化・国際	英語圏文化研究	2			○				◎					
歴史・文化・国際	English Stories Ⅰ	2			◎	○								

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
歴史・文化・国際	English Stories Ⅱ	2			◎				○					
歴史・文化・国際	日本史Ⅱ	2			◎				○					
歴史・文化・国際	日本美術史	2			◎				○					
歴史・文化・国際	地域文化論	2			○				◎					
歴史・文化・国際	日本考古学	2			○				◎					
演習	基礎演習Ⅲ	2				◎				○	○	○		
演習	基礎演習Ⅳ	2				◎				○	○	○		
メディア・情報	ジャーナリズム論	3							◎	○				
メディア・情報	放送文化論	3							◎	○				
メディア・情報	広告文化論	3							◎	○				
メディア・情報	学校図書館メディアの構成	3				○		◎						
メディア・情報	視聴覚メディア論	3				○		◎						
メディア・情報	読書と豊かな人間性	3				○		◎						
メディア・情報	情報発信研究	3					○	◎						
創作文芸・マンガ	マンガ研究	3							◎	○				
創作文芸・マンガ	アニメーション研究	3							◎	○				
創作文芸・マンガ	小説創作Ⅰ	3				○	◎							
創作文芸・マンガ	小説創作Ⅱ	3					◎		○					
創作文芸・マンガ	シナリオ脚本創作Ⅰ	3				○	◎							
創作文芸・マンガ	シナリオ脚本創作Ⅱ	3					◎			○				

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
創作文芸・マンガ	言語芸術論	3							◎	○				
日本語・日本文学	文章表現論	3				○	◎							
日本語・日本文学	語彙論	3							○	◎				
日本語・日本文学	社会言語学	3							◎	○				
日本語・日本文学	日本近代文学研究	3							◎	○				
日本語・日本文学	書道及び書道史Ⅰ	3					◎	○						
日本語・日本文学	書道及び書道史Ⅱ	3					◎		○					
日本語・日本文学	漢文学研究	3							◎	○				
歴史・文化・国際	国際文化論	3							◎	○				
歴史・文化・国際	古文書講読(くずし字入門)	3							◎	○				
歴史・文化・国際	日本文化と文化財	3						○	◎					
歴史・文化・国際	絵画論	3						○	◎					
歴史・文化・国際	博物館情報・メディア論	3						○					◎	
歴史・文化・国際	博物館実習Ⅰ(見学実習)	3						○					◎	
展開(演習)	専門演習Ⅰ	3							○	◎	○	○		
展開(演習)	専門演習Ⅱ	3							○	◎	○	○		
メディア・情報	メディア表現論	4						○		◎				
創作文芸・マンガ	メディア文化論	4							○	◎				
創作文芸・マンガ	ファンタジー論	4							○	◎				
日本語・日本文学	日本語教授法	4										○	◎	

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
歴史・文化・国際	博物館実習Ⅱ(学内実習)	4										○	◎	
展開(演習)	専門演習Ⅲ	4										○		◎
展開(演習)	専門演習Ⅳ	4										○		◎

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
免許資格関連	教育原理	1	◎										○	
免許資格関連	教職概論	1	◎										○	
免許資格関連	教育制度論	1	◎										○	
免許資格関連	情報資源組織論	1	◎										○	
免許資格関連	教育心理学	2	◎										○	
免許資格関連	特別支援教育	2	◎										○	
免許資格関連	教育課程論	2	◎										○	
免許資格関連	教育相談	2				◎							○	
免許資格関連	国語科指導法Ⅰ	2				◎							○	
免許資格関連	国語科指導法Ⅱ	2				◎							○	
免許資格関連	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2				◎							○	
免許資格関連	教育方法・技術論〔ICT活用を含む〕	2				◎							○	
免許資格関連	博物館資料論	2			◎								○	
免許資格関連	博物館展示論	2			◎								○	
免許資格関連	博物館教育論	2			◎								○	
免許資格関連	図書館制度・経営論	2						◎					○	
免許資格関連	図書館サービス概論	2						◎					○	
免許資格関連	情報資源組織演習Ⅰ	2						◎					○	
免許資格関連	情報資源組織演習Ⅱ	2						◎					○	
免許資格関連	児童サービス論	2						◎					○	
免許資格関連	道徳理論と指導法	3				◎							○	

カリキュラムマップ

▼人文学部人文学科

			1「知識・理解」			2「汎用的技能」					3「態度・志向性」			4「統合的な学習経験と創造的思考力」
	授業科目の名称	授業を行う年次	1. 学際的な視点に立った人間理解に必要な幅広い総合的教養を身につけている。	2. 創造表現、言語、文化の各分野における基本的な知識・技能を体系的に身につけている。	3. 日本や外国の多様な文化、思想、歴史について語学・文学・考古学・民俗学・美術史を通し、幅広く理解することができる。	1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができ、効果的なプレゼンテーションができる。(コミュニケーション・スキル)	2. クリエイティブな発想を生かし、適切な言語表現や映像表現を用いた創作的活動ができる。(クリエイティブ・スキル)	3. 情報通信技術を用いて、創造表現、言語、文化の各分野における多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用するとともに、情報発信や創造表現をすることができる。(情報リテラシー)	4. 古典から現代文学、マンガ、映像、言語、芸術、歴史、さらには国際文化についての知識や情報を整理し、説明することができる。(論理的思考力)	5. 創造表現、言語、文化の各分野における問題を発見するとともに、さまざまな情報に基づいて、専門的な見地からこれらの問題を解決できる。(問題解決力)	1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる。(自己管理力・勤倹誠実)	2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。(チームワーク・共生き)	3. 専門的職業人としての倫理観・使命感を身につけるとともに、国際的な活動や仕事に取り組み、社会に貢献する意欲と目的意識を持ち、国際人として責任のある行動をとることができる。	卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。
免許資格関連	生徒指導論(進路指導を含む)	3										○	◎	
免許資格関連	国語科指導法Ⅲ	3							◎				○	
免許資格関連	国語科指導法Ⅳ	3							◎				○	
免許資格関連	博物館経営論	3							○				◎	
免許資格関連	博物館資料保存論	3							○				◎	
免許資格関連	情報サービス演習Ⅰ	3								○			◎	
免許資格関連	情報サービス演習Ⅱ	3								○			◎	
免許資格関連	図書館サービス特論	3								○			◎	
免許資格関連	教育実習指導〔中・高〕	3・4									○	○	◎	
免許資格関連	教育実習〔中学校〕	4									○	○	◎	
免許資格関連	教育実習〔高校〕	4									○	○	◎	
免許資格関連	教職実践演習〔中・高〕	4									○	○	◎	
免許資格関連	博物館実習Ⅲ(館園実習)	4									○	○	◎	